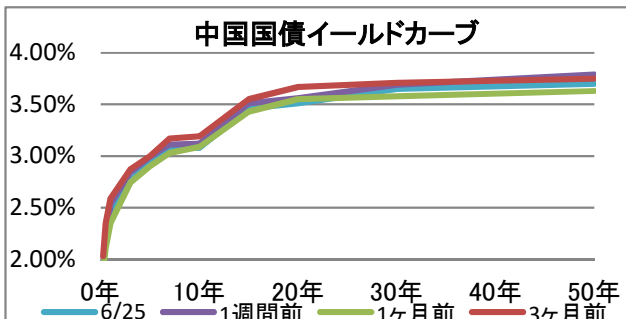
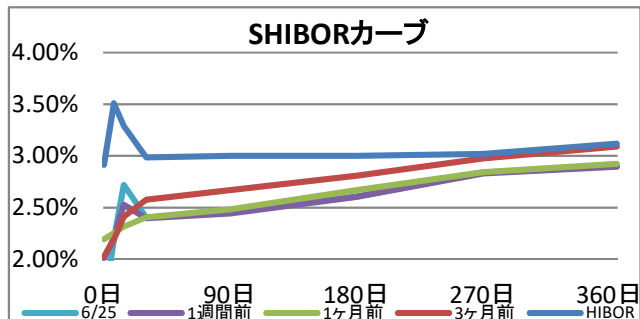


## ①市場概況

基準レート		2021/6/25	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4744	0.0383
	JPY/CNY	5.8381	0.0021
SHIBOR	3M	2.4560%	+0.0120%
国債利回り	10年	3.08%	-0.04%
上海総合指数		3,607.56	+82.46



### (1) 概況

米国のFRB高官の金融政策関連発言や財政政策見通しを材料に、金融市場は世界的に不透明感からやや不安定な動きが見られたものの、株、債券ともに下値では買いが入る展開となり、FRBの大手金融機関に対するストレステストの良好な結果と株主還元規制撤廃が公表されたこともあって投資家心理は改善している。

中国金融市場では、四半期末を控えて資金需給がタイトになる中でインフレ懸念と金融緩和政策の転換への懸念が高まっていたものの、政府の資源価格抑制姿勢と中国人民銀行の金融政策維持姿勢により債券利回りは低下に転じ、預金金利上限規制改革により銀行株を中心に株式市場も反騰する等、四半期末と共産党結党100周年を控える中で概ね安定し、外為市場においても月末の決済と配当支払いによる外貨買いが一巡すると人民元高に戻す展開となっている。

中国では、REIT上場も実現して直接金融の拡大による金融リスク分散が一段と進み、金融規制面でも金融機関の関係者との取引規制強化や暗号資産関連取引禁止等による金融システムの整備も進んでいる。

### (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日400億元に対し、四半期末を控えていることから3月初から続ける毎日100億元のリバースオペを増額する柔軟対応により900億元を新規で実行し、差し引き500億元を供給している。また、中国人民銀行が21日に公表したLPR（1年3.85%、5年以上4.65%）は14ヶ月連続の据え置きとなっている。

### (3) 主な経済指標

特になし。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.5500%	1.5300%	1.6800%	
1W	2.1960%	2.7900%	1.5000%	2.5500%
2W	2.7190%	2.5000%	2.7500%	2.5200%
1M	2.4040%	2.8500%	3.2000%	2.5000%
3M	2.4560%	3.8000%		2.4500%
6M	2.6090%			2.5900%
9M	2.8400%	3.7500%		2.8400%
12M	2.9040%			2.8900%

週末の金融時報での中国人民銀行関係者の金融緩和政策転換への思惑を戒める記事の話題で始まり、LPRの据え置き、3月から続けていた日々100億元の供給を増額する金融調節実施等により過度な懸念が後退し、四半期末となる月末を越える資金の金利水準も落ち着いた動きとなっている。ターム物は1ヶ月の2.60%前後での出会いを除き限定的。

NCDは、活発な取引が続いており、金利水準も四半期末となる月末越えの期間の金利がやや上昇したものの、それ以外の期間の金利上昇は限定的となっている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.45%程度まで、3ヶ月物は2.45%、6ヶ月が2.5%台、1年が2.8%台まで低下している。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.04%	0.05%
1W	0.06%	0.08%
1M	0.12%	0.15%
3M	0.23%	0.25%
6M	0.30%	0.35%
12M	0.50%	0.55%

資金需給は概ね均衡しており、月末越えとなる1週間物も0.05%を挟んだ出会いとなっている。ターム物の金利水準は、1ヶ月は0.12%、3ヶ月は0.25%前後での取引が続いている。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.92%	2.08%	2.46%	2.71%	3.15%
6M	2.19%	2.33%	2.59%	2.77%	3.21%
1Y	2.44%	2.50%	2.84%	2.97%	3.41%
3Y	2.76%	3.01%	3.22%	3.39%	4.00%
5Y	2.95%	3.20%	3.54%	3.65%	4.46%
10Y	3.08%	3.41%	3.86%	3.94%	4.77%

債券市場では四半期末を控えて神経質な展開も予想される中、金融時報の記事に続くLPR据え置きによる金融緩和政策継続に対する安心感や国家発展改革委員会による資源価格抑制姿勢も確認されて買い仕かりの展開となり、米国債利回りが1.5%以下で推移したことも手伝って利回りは小幅に低下している。

イールドカーブは、金融政策見通しが楽観に転じつつあることから、国債、特に短期国債を中心に利回りが低下したことからブルスティープニングに転じ、クレジットスプレッドも短期を中心に拡大に転じている。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1W	42.2 / 42.8
1M	133.6 / 134.5
3M	386.0 / 390.0
6M	777.0 / 780.0
9M	1167.0 / 1173.0
12M	1548.0 / 1549.0

対ドル基準レートは、6.4744と前週末比+383pipsのドル高元安、対円基準レートは5.8381と同+21pipsの円高元安と、米国の金融政策に対する思惑と配当支払いに伴う外貨ニーズの高まりもあってドル高となっている。国内市場は週初6.45台で取引が始まり、週半ばに6.48台まで上昇したものの、国外からの投資資金流入も続いており週末には6.45台に戻す行っている展開。

先物は、人民元短期金利が低下に転じたこともあって、スワップ幅は1年物が1500台半ばまで縮小している。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.37%		2.16%
6M	2.40%	2.56%	2.17%
9M	2.45%	2.69%	2.18%
1Y	2.49%	2.76%	2.20%
3Y	2.72%	3.13%	2.40%
5Y	2.90%	3.37%	
7Y	3.03%	3.54%	
10Y	3.18%	3.72%	

スワップ金利も債券利回りの低下につれて全体的に低下している。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、スワップ金利の低下が債券利回りの低下幅を若干上回ったことから小幅ながら縮小している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。